



◇下田を知っていただくためのステップ

全国的に移住や交流居住が盛んになる中で、インターネット等による情報収集が盛んになっており、自宅に居ながら、パソコンの画面で、住まい、仕事、風景、口コミまで知ることができる時代になっています。しかし、画面の情報はあくまでもバーチャルなものです。

もし情報と異なる場面があっても、旅行や一時的な滞在であれば我慢することもできますが、移住や交流居住で長く生活する場合は、こうした小さなズレが失望につながります。

やはり、移住という大きな決断をするためには、この地域に実際に足を運んでもらい、現地の風景、気候、雰囲気、人柄などに触れて、納得していただく必要があります。

そこで、移住を検討するために、「移住候補地」として下田をより深く知っていただくための3つのステップを紹介します。

ステップ①

◇ 短期滞在期（観光地として年に数回下田を訪れる）

下田市は首都圏からの観光地として知られています。まずは皆さんのお気に入りのテーマ、お気に入りの場所、お気に入りの食べ物を目的に、気ままな観光客として短期滞在で何度もお越しいただくことをお勧めします。

下田を知り、好きになっていただくために。市内の宿泊施設に滞在して、下田を隅々まで見ていただくことができます。まずは「観光」で下田を楽しみましょう。

ステップ②

◇ 往来期（お気に入りの場所として行ったり来たりする）

週末や休暇を利用して都会と下田を行き来し、都会での生活と田舎暮らしの両方を楽しみましょう。都会に生活基盤をおきながら、田舎のセカンドハウスや貸家などを利用して、都会生活(日常生活)と田舎暮らし(余暇時間)を両立させることをお勧めします。

首都圏からは、日帰りも可能、週末仕事が終わって下田へ来ることも可能。下田は、都会と田舎のどちらも満喫できる、往来型にぴったりの交通アクセスを持っています。

ステップ③

◇ 定住期（どっぷり下田暮らし）

仕事や生活の基盤をがっちり下田において、必要なときにだけ都会に戻るスタイルです。短期滞在や往来を重ねることで、住宅、仕事、趣味を選び、自分のライフスタイルが描けた人には、思い切って決断していただくことをお勧めします。

どれだけ調べても、どれだけ下見しても、どれだけ考えても不安は消えません。最後は、「下田が好き、下田へ住みたい」その思いを信じて、思い切って決断しましょう。

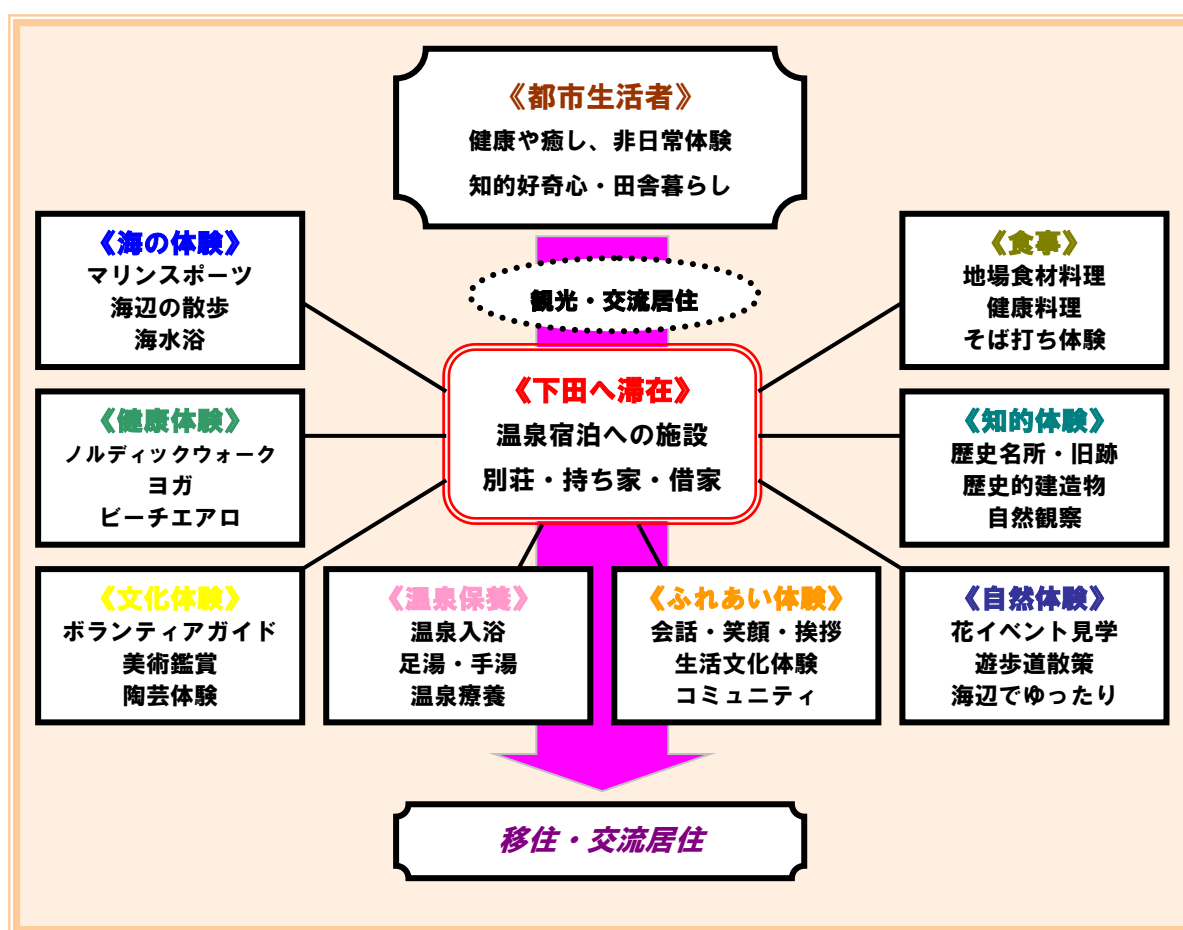
皆さんの夢をかなえるため、少しずつステップを上りましょう。目指す田舎暮らし、希

望する生活スタイル、そして仕事やご家族、資金との関係などを十分に検討して、それぞれの目的に合った田舎暮らしを見つけてください。

◇下田を知ろう（ステップ①の方法）

下田市は、首都圏からの代表的な観光地として知られています。自然、歴史、文化などを活かして、四季を通して様々な楽しみ方があります。まずは皆さんのお気に入りのテーマ、お気に入りの場所、お気に入りの食べ物を目的に、観光客として何度もお越しいただくことをお勧めします。そして、そこから、まちで出会う様々な新しい魅力を拾い集め、皆さんの下田ライフのイメージを創っていきませんか。

下田市の目指す探索イメージは、宿泊施設、別荘、持ち家等への滞在を核として、自然体験プログラム、まち歩き、観光名所、食事等のメニューを体験してもらうことです。



下田市では、本市の特性を活かした下田でしか体験することができない滞在プログラムをご用意しています。皆様の滞在時間、滞在目的、ご希望に合わせて、組み合わせていただき、ご自分だけの下田物語を創ってください。

《下田の観光情報は下記へどうぞ！》

下田市役所観光交流課 TEL: 0558-22-3913 HP: <https://www.city.shimoda.shizuoka.jp>

下田市観光協会 TEL: 0558-22-1531 HP: <https://www.shimoda-city.info>

下田体験プログラム「し〜もん」

TEL: 0558-22-5255 HP: <https://seamon.info/>

◇下田を知る:不動産情報

〔土地や建物の確保〕

移住・交流居住を検討する際の課題のひとつに住宅の確保があります。下田市は、リゾート地という土地柄、たくさんの民間不動産業者があり、それぞれホームページなどで、一戸建て、借家、マンション、アパートなど多様な民間物件を紹介しています。移住に向けて下田市内の土地や建物(購入・賃貸・別荘)を探すときは、こうした不動産業者をご利用ください。市内にある業者は、地域や物件などの得意分野がありますので、こまめに情報収集されることをお勧めします。初めての場合には、「静岡県宅地建物取引業協会東部支部」や「全日本不動産協会」等のホームページの情報をご利用いただくと便利かと思います。

また、下田市では、民間物件では取り扱わない古民家やリフォームが可能な物件などをご紹介するために、「下田市空き家バンク(下田市主催)」を開設しております。「NPO 法人伊豆 in 賀茂 6」と協力して、物件の照会、ご案内を行っていますので、ホームページ等でご確認いただくとともに、積極的にお問い合わせください。

田舎暮らしの物件は、なかなか不動産情報に上がってきませんが、案外個人的なつながりの中でお気に入りの物件に出会える場合があります。我慢や無理をして高価な物件をいきなり購入するより、賃貸物件や体験訪問等を交えながら、チャンスを待つことも一つの方法かもしれません。

土地や建物に関しては、高い買い物ですし、これから長い付き合いになるものですから、インターネットや電話だけで安易に決めることなく、必ず現地に足を運んで、周囲の状況や予想される生活環境などを確認していただくことが重要になります。

◇下田を知る仕事情報

～下田で暮らすための仕事情報！『下田でワーク・ライク・バランスを実現しよう』～

〔仕事について〕

下田市は観光業を中心とした産業構造となっており、国勢調査の産業分類で見ると、約8割の人が第3次産業に従事しています。仕事の内容では、主に宿泊業、飲食サービス業、卸・小売業が多く、また高齢化が進行する中で、医療・福祉関係の仕事も多くなっていますが、“土日休みの一般事務”といった仕事は少ないのが現状です。しかし、職種を問わなければハローワークに出される求人数は多いので、こまめに情報を収集し、生活スタイルに合わせて仕事内容や勤務時間など幅広く狙うと、良い仕事に巡り合うことができます。また、一般の求人にはなかなか出ないけれど、実際に下田市で生活をして知り合いが増えていくと、思わぬスカウトが舞い込むこともあります。

また、最近流行しているのは「ワーク・ライク・バランス」や「半農半X」といった、

仕事と好きなことの両方を楽しむためにご自分のライフスタイルや季節や気候、曜日などに合わせていくつかのお仕事を掛け持ちする、そのような働き方も増えています。田舎暮らしとして、農林業や漁業を希望される方も増えていますが、法律や権利関係、技術や技能の習得など、かなりの時間が必要となる場合もありますので、県や市などの専門機関に相談したり、従事者や経験者からじっくり話を聞くことをお勧めします。

<相談窓口>

<就職したい！>	
ハローワーク下田 (下田公共職業安定所)	☎ 0558-22-0288 下田市 4-5-26
<起業したい！>	
下田商工会議所	☎ 0558-22-1181 下田市 2-12-17 https://www.shimoda-cci.or.jp/
<農業をはじめたい！>	
静岡県賀茂農林事務所	☎ 0558-24-2076 下田市中 531-1
公益社団法人 静岡県農業振興公社	☎ 054-250-8988 静岡市葵区追手町 9-18 http://www.shizuoka-nk.or.jp/shunou/
<林業をはじめたい！>	
公益社団法人 静岡県山林協会	☎ 054-255-4488 静岡市葵区追手町 9-6 県庁西館 9 階 http://www.moritohito.jp
伊豆森林組合	☎ 0558-23-6116 下田市河内 399 http://www.izumori.jp
<漁業をはじめたい！>	
伊豆漁業協同組合	☎ 0558-22-3585 下田市外ヶ岡 11
<農林漁業全般の相談は市役所へ>	
下田市役所産業振興課	☎ 0558-22-3914 下田市東本郷 1-5-18

静岡で農業人になるためのノウハウから農地・住宅情報など、就農するまでの様々な情報を紹介しています。

◇下田への交通アクセス

首都圏から下田へお越しになる場合は、電車またはお車のご利用になります。所要時間は、電車をご利用いただくと約3時間、お車をご利用いただくと約4時間を目安にしてください。アクセスによっては、首都圏からは日帰りも可能です。

しかし、お車の場合、夏季やGW、連休などの行楽シーズンは途中渋滞が発生するケースが多く、5時間から6時間かかる場合がありますので、ご注意ください。

◎電車をご利用の場合

- ・新幹線を利用：所要時間約2時間20分
東京⇒(新幹線)⇒熱海⇒(JR伊東線・伊豆急行線)⇒下田
- ・特急電車を利用：所要時間約2時間40分
東京⇒(サフィール踊り子号)⇒下田

【参考・東京との始発と最終】 ※観光シーズンにはこれ以外に臨時列車が増発されます。

◇東京⇒下田：新幹線利用の場合 始発 = 東京駅 6:30 発 ⇒ 下田駅 8:51 着
最終 = 東京駅 20:27 発 ⇒ 下田駅 23:15 着
特急利用の場合 始発 = 東京駅 9:00 発 ⇒ 下田駅 11:40 着
最終 = 東京駅 13:00 発 ⇒ 下田駅 15:43 着

◇下田⇒東京：新幹線利用の場合 始発 = 下田駅 5:38 発 ⇒ 東京駅 8:00 着
最終 = 下田駅 19:24 発 ⇒ 東京駅 23:15 着
特急利用の場合 始発 = 下田駅 10:09 発 ⇒ 東京駅 12:49 着
最終 = 下田駅 15:08 発 ⇒ 東京駅 17:49 着

(※令和5年4月1日現在)

★伊豆急行線には、サフィール踊り子、きんめ列車、アロハ電車等の車両が走っています。

◎お車をご利用の場合

- ・東名高速道路を利用：所要時間約3時間30分
東京⇒(東名高速道路)⇒沼津IC⇒(伊豆縦貫自動車道路)⇒(R414)⇒下田
又は(新東名高速道路)⇒長泉沼津IC⇒(伊豆縦貫自動車道路)⇒(R414)⇒下田
- ★海岸線の風景を楽しむなら、東名厚木IC＝小田原厚木道路＝国道135号がお勧め

下田市内の公共交通機関《路線図P27》

下田市内の公共交通機関は、電車、バス、タクシーがあります。しかし、路線数、便数ともに少なく、また各種の施設もあちこちに点在をしていることから、公共交通機関による移動は大変不便なのが実情です。特にバスは、地域によっては1日に数本という場所もあります。

市内での自由な移動をご希望される場合は、可能な限り自家用車を確保されることをお勧めします。ご希望される場所の交通状況については事前に十分ご確認ください。

◇下田の暮らしのあらまし

〔医療環境〕

市内には、病院が2機関、診療所・医院が16機関、歯科医院が11機関あります。一般的な診療には十分な診療科目や機関数がありますが、専門治療や高度医療を行うことができる医療機関や産婦人科が少ないのが現状です。

救急医療では、救急センター等の専門の受入施設はありませんが、市内の医療機関が当番制で受け入れを行う体制が整っています。重症者の場合は、伊豆の国市の医療機関まで搬送されることになり、特に重症または緊急を要する場合には、ドクターヘリも運航されています。

〔下田で子育て・教育環境〕

市内には、保育所2園、認定こども園2園で保育を行っており、通常の保育に加えて、障害児保育、病児保育も実施しています。

また、子育て支援センター、ファミリーサポートセンターが開設されている他、子ども医療費助成制度（高校3年生相当まで）自己負担なし、しずおか子育て優待カード制度、夏の海水浴場割引制度、不妊治療助成等、下田の子育て支援はとても充実しています。

子育てに関する情報は、「しもだ子育てガイドブック」が発行されており、母子手帳の交付から予防接種、市の助成制度などの情報がこの一冊でわかります。

※ガイドブックは、下田市HP又は下田市役所市民保健課窓口、福祉事務所窓口で配布しています。

教育施設は、認定こども園2園、小学校7校、中学校1校があります。中学校は1校になります。小学生を対象とした放課後児童クラブも全学区で開所されています。

高等学校は、市内には県立高校が1校（下田）、賀茂地域には県立高校が2校（稲取、松崎）があります。伊豆南部地域には大学や短大はなく、専門学校も看護系の学校が1校あるのみです。そのため高校を卒業して進学をするためには、ほとんどが市外に出なければなりません。

※下田高校には、理数科、普通科、園芸科【園芸科は南伊豆分校】があります。

〔お買い物環境〕

市内には、スーパー4店舗、ホームセンター1店舗、ドラッグストア4店舗、家電量販店1店舗あります。スーパーには、新鮮な魚介類が豊富で、地場産品の直売所、無人売店には、朝採りの農産物などを手に入れることができます。

全国展開しているコンビニエンスストアは13店舗あり、店舗の場所は幹線道路沿いに集中しています。自家用車をお持ちでしたら、ほとんど不便なくご利用になれます。

各地域に小規模な商店はありますが、市内での飲食料品等の日常生活用品の買い物については市街地にあるスーパーが多く利用されています。地域によっては、車がないと生活が困難な場合もありますが、逆に言うと車があれば生活の利便性は確保されます。

ただし、市内には、映画館、ボウリング場、遊園地等の娯楽施設はありません。